



群馬県立精神医療センターだより



No.12 平成30年11月

精神医療センターフェアを開催しました

11月8日（木）、県民の皆さまに当センターの医療内容等についてよりよく知っていただくことを目的に、家族会「のびる会バザー」と共同開催しました。

精神医療センターフェアのブースの他、精神医療センター家族会「のびる会」と外部の9団体が出展して延べ700人余の方々に来ていただき大盛況でした。

県民の皆さま・各団体の皆さまと当事者の方々・当センター職員の心あたたまるふれあいの場となりました。



精神医療センター
フェア



非常食用の
おかゆの試食



基本理念

1. 患者・家族そして全ての県民のために
2. 良き精神科医療は良き社会をつくる
3. こころの時代を支える精神科医療

運営方針

1. 人間の尊厳を尊重し人権に配慮した医療
2. 都道府県立精神科病院の設置義務に基づいた政策医療
3. 客観性と透明性と説明責任を重視した医療
4. 適切な医療技術による良質で安全な医療の提供
5. 社会復帰と社会参加を目指した医療
6. 多職種チーム医療の徹底
7. 障害者にやさしい地域ネットワークづくり



地域連携交流会を開催しました

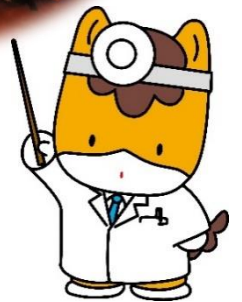
10月16日(火)、当院にて、顔の見える地域連携を目指し、地域連携交流会を開催しました。佐波伊勢崎地域の医療機関・行政・障害福祉サービス事業所・学校の方々にご参加していただきました。

前半は、須藤第一診療部長の講義、後半は3グループに分かれて意見交換を行いました。



参加した方々の感想…

- 先生から直接聞く機会を設けていただいて、とても参考になりました。
- 自分の働く分野とは違うところで働く方々の話が聞けてよかったです。
- 須藤先生のSSTのお話は大変良かった。



DPATについて

DPATとは、Disaster Psychiatric Teamの略で、大規模な自然災害や深刻な事件事故等が発生した際に派遣される精神医療チームのことです。

群馬県では、平成30年5月に発足しました。当院は先遣隊として県と協定を結んでいます。

右の写真は、北海道胆振東部地震の際のものです。(函館まで行ったものの支援要請が撤回されたため被災地支援には入りませんでした。)



2018.09.06

F病棟の紹介

思春期・青年期の患者、急性期後方支援病棟として回復期・社会復帰期にある患者の受け入れを行っています。病棟内ユニットは男女別ですが、他の病棟と違い、食堂は一カ所であり、男女皆同じ場所で食事を摂ります。また日中は両フロアのデイルームを開放していて、どちらでも過ごせるようになっており、より社会に近い自然な環境を提供しています。



プレイルームでストレッチ等をしてリラックス



食事はみんなで食べます



日中は両フロアのデイルームを開放しています



F1ユニット



F2ユニット

思春期プログラム

同世代の人たちと同じ時間・同じ空間にいられることを目標として、20歳未満の患者を対象として、平日は毎日行われています。看護師・作業療法士・臨床心理士など様々な職種が連携して、レクリエーションや学校などの課題に取り組みます。



ディケアメンバーが合唱発表をしました

～院内喫茶パルファンにおいて～



メンバーの声…

- ・見物客の拍手が多くて驚きました。
- ・大ホールで発表したいです。

プログラムで練習した成果を
たくさんの人たちの前で
発表できました。



診察予約について

初診の方は予約制になっています。事前にお電話での予約をお願いします。

【受付窓口】 地域医療連携室(医療福祉課) 電話 0270-62-3311 (代表)

【受付時間】 月～金(土日祝日・年末年始を除く) 8:30～17:15

他の医療機関を受診中の方は、紹介状をご持参ください。



群馬県立精神医療センター

〒379-2221 伊勢崎市国定町2丁目2374

TEL 0270-62-3311

FAX 0270-62-0088

URL <http://www.gunma-seishin.jp>

- JR国定駅から徒歩10分
- 上武国道(国道17号)三和町交差点から車で5分
- 北関東自動車道伊勢崎ICから車で5分